

竜ヶ崎第一高校 出前授業 報告

2016. 11. 12(土)

武仲 能子

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校

日時 : 11月12日(土) 13:30~15:00

出席者 : 武仲委員長

参加者 : 文理選択前の1年生とSSHクラスの2年生数名(男子7名、女子7名、計14名)

内容 :

13:00 竜ヶ崎第一高校到着

13:30-13:40 日本機械学会、LAJ委員会の紹介…武仲委員長

13:40-15:00 液晶テレビの基礎的な原理の紹介…武仲委員長

15:00 終了

○状況詳細 :

- ・SSHである竜ヶ崎第一高校が主催するサイエンスカフェでの講演ということで、お茶とお菓子が用意され、リラックスした雰囲気で行われた。
- ・LAJの紹介では、機械工学分野の紹介、機械工学分野における女性技術者・研究者の現状などについて説明した。
- ・液晶テレビの基礎的な原理の紹介では、学問的な内容に加えて、研究者の日常生活や研究所の様子など、研究者という仕事がどういう仕事なのかも紹介した。
- ・普通の教室で行われたため、生徒との距離が近く、問いかかけをしながら進めることが出来た。
- ・実際にデモを行い現象を見てもらうと共に、生徒にも簡単に手を動かして体験してもらった。

○講義風景



○アンケート結果

- ・普段身近に使っているテレビやスマホ等に液晶が使われているということが分かった等のコメントが複数あり、何気ない生活の中にも技術が生かされていることを感じてもらえた。
- ・お茶とお菓子があり、リラックスした雰囲気がよかったとの声もあった。
- ・研究者の日常生活には興味を持ってもらえたようで、特に裁量労働への興味が高かった。
- ・女子に比べ男子の方が若干興味深いというコメントは多かったが、全体的には9割を超える生徒から、楽しかった、科学に対する興味・関心が高まったとの回答を得た。